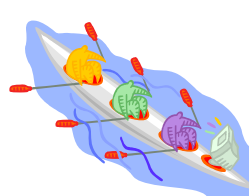


山形県高等学校総合文化祭

第32回山形県高等学校総合文化祭鶴岡大会が、10月10日から12日まで開催されました。

❖書道部	3-2	齋藤 美里	総合文化祭賞（第1席） 優秀賞	
	2-2	石川 紗朱		
❖文芸部（詩のボクシング県大会）			優勝	
	1-2	大場 竜之		
❖美術部	3-2	土屋 香奈	特選	
	3-3	佐藤 彩絵	奨励賞	
❖写真部	3-4	佐藤 由	優秀賞	
	3-4	設楽 莉奈	優秀賞	
	2-1	杜多 克洋	優秀賞	

おめでとう！

☆弓道部 県新人戦 女子団体 ベスト8
第27回全国高等学校弓道選抜大会 女子団体 第2位
(上記の結果により、12月に神奈川で行われる第8回東日本高等学校弓道大会と、1月に行われる第27回東北高等学校弓道選抜大会へ出場することが決定しました。)

☆ボート部 県新人戦

《男子ダブルスカル》	第2位	齋藤勇介	下妻匡哉
《男子クォドルプル》	第2位	土田敬明	佐賀井聡 阿部雅弘 佐藤優也 齋藤僚太
《女子シングルスカル》	第2位	佐藤理紗	
《女子ダブルスカル》	第2位	佐藤理紗	加藤伸江
《女子クォドルプル》	第1位	石黒真美	加藤彩 斉藤和 阿部栞 堀友紀

2年次大学模擬授業



10月23日（木）、山形大学の先生方から、大学の学部・学科の専門科目について模擬授業をしてもらいました。今年度初の試みで、日頃の学習との関係を深め、進路目標をより具体化させることを目的とし、実施されました。模擬授業は、生徒の進路希望に合わせ、次のような7つの講義が行われ、講義時間は大学と同じ90分でしたが、生徒たちは、熱心に講義を受けました。

①人文学部	中村 唯史先生	「マンガの仕組みを考える」
②人文学部	高橋 和先生	「国際社会のしくみ—国際政治と国内政治はどう違うのか」
③地域教育学部	奥野 誠一先生	「住環境を考える」
④地域教育学部	佐藤 慎也先生	「コミュニケーションの心理学」
⑤理学部	山野井 徹先生	「理学から探る東北の縄文文化」
⑥工学部	木俣 光正先生	「光で水を浄化する粉体」
⑦農学部	安中 武幸先生	「土の科学入門」

【生徒の感想から】

- ・講義を聴いてとても勉強になった。90分という時間があっという間だった。心理学のワークをして、話す人、聴く人の大切さ、言語表現以外での感情の表し方など、日頃気づかないことに注目できた。楽しく講義を聴けてよかった。
- ・模擬授業を受けて、理学は学ぶ範囲が広いと思った。自分が抱いた疑問から自分なりの仮説を立て、それが正しいかどうか実際に調べて、証明していく。自分の興味のあることをこのようにして調べることができたらいいと思った。興味のあることに取り組み、専門的に勉強してみたい。



・授業を受ける前は、90分という長さに抵抗があったが、最後まで飽きずに授業を受けることができた。初めてということもあるだろうが、普段の授業よりおもしろかった。将来自分が学びたいことを大学で学べるとなると、充実した時間になるのだろうと思った。

・90分の授業でも全然眠くならなかった。大学では毎日このような講義があるのだから、今から集中力を養う必要がある。高校の授業と違い、板書は整理されていないので、少しでも気を緩めるとどんどん先に進んでしまう。高校での手取り足取りの授業と比べると、自分で必死になって集中して情報をかき集めなければならなかった。



你好！留学生



9月に本校に来た中国人留学生・張輝(ちょうき)さんに2か月たった現在の様子をききました。

Q. 日本の学校と中国の学校では何が違いますか？

A. 中国の学校では家庭科や保健の授業はないので驚きました。

Q. 得意な教科・苦手な教科はありますか？

A. 中国では物理が得意でした。今は数学を頑張っています。苦手な科目は英語です。中国では4年間英語の勉強をしていなかったのが難しいです。日本語も英語も私にとっては外国語なので大変ですが頑張りたいです。

Q. 部活動は何をしていますか？

A. 英語部と書道部に参加しています。英語部では音楽を聴いたり、ゲームをしたりととても面白いです。書道はもともと趣味なのですが、心が静かで落ち着く気持ちになります。

Q. 思い出に残っていることは何かありますか？

A. 初めて自転車で帰ったときに、迷子になってしまったことです。とても怖くて普段きれいだと思っている鳥海山も恐ろしく感じました。電気屋さんがホームステイ先に連絡を取ってくれて、お茶を出して励ましてくれたり、とても親切にしてもらったので嬉しかったです。

Q. 日本の食事はどうですか？

A. 最初はなっとうが大嫌いでしたが、今は食べられるようになりました。一番好きなのはカボチャの味噌汁です。また、ご飯を食べる時に中国ではテーブルとイスですが、日本では畳に低いテーブルで食べるので正座をするのが大変です。今では25分までは正座できます。

Q. 酒田はどうですか？

A. 大好きです。自然がたくさんあって、景色がきれい。毎朝登校する時には、鳥海山や川が見え、自転車に乗っている自分がまるで絵の中に入っているみたいな気持ちになります。

Q. これから楽しみにしていることは何ですか？

A. 修学旅行です！京都は歴史がある都市なので以前から興味がありました。とても楽しみです。

感受性豊かで勉強熱心な張輝さん、これからの学校生活も充実したものとなるよう期待しています。

☆張輝の気になる漢字☆ ～日本と中国の意味の違い～

○「手紙」…中国ではトイレットペーパーの意味なので最初はビックルしました！
ちなみに中国では手紙のことを「信」といいます。

○「湯」……中国ではスープのことをいうので、
日本人は毎日スープに入っているみたい(!?)



平成20年度中国高校生訪日団第5陣学校交流プログラム

10月17日(金)に、中国からの高校生訪日団が山形県を訪れました。そのうち、本校には3人の中国人高校生(写真後列の浴衣姿)が来校し、3年次とともに授業を受けたり、本校留学生の張輝さんや執行部の生徒とともに交流をはかり、短い時間ながらも日本の高校生活を体験してもらいました。

今年の日中青少年交流年にあたり、その活動の一環として中国の高校生訪日団が日本を公式訪問し、全国各地の高校などを訪れました。本校生徒は普段から留学生やALTなどと交流をはかっているため、今回の中国人高校生たちともリラックスした雰囲気での交流することができ、とてもよい体験となりました。



◎生徒による体験レポート

私たちは10月17日に中国の貴州省から来た3人の留学生を迎えました。彼らはまず英語コースの生徒と一緒に異文化理解という授業を受けました。この授業ではゲームや英会話などをして楽しみました。留学生たちは「中国の授業形式と違ってとても楽しかったです。」と言っていました。

その後、校長室で日中交流会を行い、日中両方の文化を紹介したり、互いのプレゼント交換をしました。彼らは日本の伝統的浴衣を試着し、写真をたくさん撮りました。そして、みんなで茶道を体験しました。彼らに茶道の由来などを紹介し、彼らは茶道に興味を持ったようで、「おいしい。」と言ってくれました。

これからも彼らのことを忘れないで、彼らと過ごした時間を一生の宝ものにしたいと思います。



わたしたちの景観づくり発表会

10月18日(土)、酒田市文化センターで行われた「わたしたちの景観づくり発表会」に、本校1年の後藤緑さんが参加してきました。緑さんは「住みよい酒田を」と題して、酒田ならではの広い空が見えるよう電線の地中化を提案、「市民が住みよい街にしていこうとの意識をもつことが大切」と訴えました。他の参加者からも様々な今後の酒田の景観づくりに対する意見が提案され、歴史ある港町として統一感がある整備を、との声が多く挙げられました。

◆11月20日(木)から11月23日(日)までの4日間、2年次生は修学旅行に行きます！今回は大阪→京都の予定です。